

項目	説明	
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	食道胃接合部癌における食道浸潤長による再発リスクの比較検討
	研究対象者	食道胃接合部癌と診断された患者さんのうち、2018年1月から2022年12月の間に神奈川県立がんセンターで手術を受けられた方
	研究目的	食道胃接合部癌は近年増加傾向にある。他施設共同前向き観察研究の結果、食道浸潤長を元に至適郭清範囲が示された。食道胃接合部癌には Siewert 分類が一般的であるが、実臨床では食道浸潤長をもとに術式選択がなされていくものと考えられる。しかしながら、食道浸潤長ごとの再発リスクについては十分な報告が少ない。このため、我々は食道胃接合部癌を食道浸潤長毎に分類し、術後短期長期成績を比較検討した。
	研究方法	対象症例 70 例を食道浸潤長を 20 mm 以下(A 群)、21-40 mm(B 群)、41 mm 以上(C 群)に分けて、患者背景・手術成績・再発および生存を後方視的に比較検討する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号(識別コード)で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 4 年 1 2 月 2 3 日 ~ 西 暦 2 0 2 9 年 1 2 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 [ ] 西暦 年 月 日頃(研究の進捗によって前後いたします)
利用する試料・情報の項目(チェック[X]が入った項目を利用します)	[ ]試料:	[ ]血漿、[ ]血清、[ ]全血、[ ]末梢血から抽出した DNA、 [ ]病理検体(具体的に記載: _____)、 [ ]尿、[ ]糞便、[ ]唾液、[ ]胸水、[ ]腹水、[ ]脳脊髄液、 [ ]毛髪、[ ]その他(具体的に記載: _____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[ ]生年月日、[X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[ ]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過(予後追跡データを含む)、[ ]ゲノムデータ、[ ]看護記録、[ ]その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	消化器外科・山田 貴允
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター・消化器外科・山田貴允 TEL:045-520-2222 利用停止のお申し出は 2028 年 3 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	